令和 3年度 施策評価シート（令和 2年度実績評価）

政策 01 安全・安心に暮らせるまち

施策 04 消防・救急の充実

主管課： 交通防災課

関係課：

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市民	市民の生命・身体・財産が守られるまちをつくります。

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

火災発生件数（年間）							(件)	交通防災課	
基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)			
10.00	14.00	26.00	14.00	19.00	23.00	8.00			
向上指針	下がると良い	(状況) 基準値に比べ13件、昨年より4件増加しています。 (原因) 火災の種別としては、建物10件、車両火災1件、その他12、合計23件で、要因としては、野焼きやたばこの不始末による延焼、たこ足配線などが挙げられます。ちょっとした気のゆるみや勘違いによる火災が増えたと考えます。							
対前年度	低下								
目標達成度	低								
次年度課題	課題とする								

火災による死傷者数（年間）							(人)	交通防災課	
基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)			
3.00	1.00	6.00	0.00	0.00	4.00	0.00			
向上指針	下がると良い	(状況) 基準値に比べ1人、昨年より4人増加している。 (原因) 野焼きによる延焼、たばこの不始末、コンセントトラッキングが原因と思われる火災により、死亡2人、軽傷2人がありました。ちょっとした気のゆるみやコンセントの管理不足により死傷者が発生したと考えます。							
対前年度	低下								
目標達成度	低								
次年度課題	課題とする								

市の救急体制が整っていると思う市民の割合							(%)	交通防災課	
基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)			
77.30	71.10	75.90	76.40	77.20	64.70	80.00			
向上指針	上がると良い	(状況) 前年度と比べると12.5ポイント減少し、市民の救急体制については64.7%の満足度となっています。 (原因) 車両・設備の維持管理とけが人等への的確な処置の訓練を継続して行い、迅速な救急出場と病院搬送に努めていますが、新型コロナウイルス感染症拡大による市民の不安な気持ちの表れと考えます。							
対前年度	低下								
目標達成度	低								
次年度課題	課題とする								

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度
	決算	決算	決算	予算	見込
事業費合計	994,299	1,001,241	1,098,794	1,171,035	1,085,151
人件費	9,760	11,336	10,492	0	0
トータルコスト	1,004,059	1,012,577	1,109,286	1,171,035	1,085,151

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向					事業費				
						H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度
01 消防体制の強化	向上	横ば				34,985	19,163	63,186	96,221	58,190
02 救命・救急体制の充実	低下					923,003	952,010	1,004,486	1,037,296	995,839
03 市民による防火対策の充実	向上	低下				36,311	30,068	31,122	37,518	31,122

5 施策全体の取組状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

消防署では車両の適切な維持管理を行い緊急時の出動に備えるとともに、地域の火災予防啓発にも取り組んでいます。また、消防団では市民の防火意識の向上と火災の発生率を減少させるため、地域の防災訓練への参加や夜警の実施、火災予防パレードの啓発活動を継続しています。消防団第13分団機械器具置場を詰所機能を有した建物へ建て替えを行い、併せて消防団整備強化検討業務を実施し消防団の増員施策・適正配置等を検討した。この結果に基づき、施策の実施、計画的建て替えを進めていく必要がある。	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

消防署や消防団と連携した啓発活動により、市民の防火意識の向上を図り、自ら防火対策に取り組む市民の増加に努めました。しかしながら、年間火災発生件数は、増えてしまったため、引き続き、夜警や火災予防パレード、駅前でのチラシ配布、ホームページへの掲載などの啓発を進めていきます。	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加

次年度の方向性

消防署では、消防車両・救急車両の適切な維持管理を行うと共に、緊急時の訓練を実施し、出動に備えます。消防団では市民の防火意識の向上と火災の発生率を減少させるため、夜警の実施や火災予防パレードの啓発活動を継続して実施し、市民の生命・身体・財産が守られるよう努めていきます。	成果方向性	向上
	コスト方向性	削減